

福良港津波防災ステーション

福良港津波防災ステーションは、津波防災に関する2つの目的をもった施設です。保育所から小学校、中学校まで多くの子供たちが利用しています。また、県内外、海外から視察や研修にたくさんのひとが訪れます。

1. 津波に備える知識を広く皆様に知っていただく施設です。
2. 地域の皆様が、交流活動を通して、広く防災ネットワークを作っていただく拠点です。



愛称は『うずまる』です。うずしおのようにまるく、福良の町を守る。



福良地区津波避難7箇条

- ① 揺れが小さくても1分以上揺れたら、すぐ避難。
- ② 30分以内に避難場所へ逃げる。こと。(福良では)
- ③ てんでんばらばらで逃げられる信じあえる家族づくり、地域づくり。
- ④ 少しでも高いところを目指すこと。
- ⑤ 建物へ逃げ込むのは最後の手段。
- ⑥ 一度避難したら、絶対に家に戻らない。
- ⑦ 避難のためにも、住宅の耐震化、家具の固定。



コロナ禍の中、お越し頂いた皆様ありがとうございました。

来館実績等

来館者数：
平成22年9月～令和3年2月まで

平成22年度	8,307
平成23年度	17,938
平成24年度	19,248
平成25年度	16,524
平成26年度	17,408
平成27年度	14,816
平成28年度	16,912
平成29年度	19,209
平成30年度	20,263
令和1年度	19,666
令和2年度	11,520
合計	181,811

(人)

津波防災と観光の両方に取り組んでいることが福良の自慢です。



ほとざき 波戸崎リーダー

防災の取組を通じて、福良の「ひと」「まち」を知ってほしいです。



たにくち 谷 ロリーダー

自分で体験した防災の取組をみんなに伝えていきたいです！



ただ 多田リーダー

◆福良港津波防災ステーションでは、学習リーダーが常駐し、津波に対する防災学習を行っております。より多くのおみなさまにご来館いただきますようお願いしております。

◆福良港津波防災ステーション

開館時間：10：00～16：00

休館日：毎週月曜日（※月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館日となります）

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1528-4

TEL：0799-50-2381 FAX：0799-50-2382

URL：http://www.tsunami-bousai.info

E-mail：info@tsunami-bousai.info

福良港津波防災ステーション かわら版

第10号 令和3年3月



福良津波防災フォーラム2020を開催しました！



今年のフォーラムは、新型コロナウイルスの影響により、自治会などの役員、南あわじ市長、県・市の行政職員のみでの参加となりました。

開催概要

日時：令和2年12月13日（日） 14:30～16:30

場所：南あわじ市福良地区公民館

内容：

- (1) 福良の観光と魅力について
 - ・関西大学による、福良の観光と防災の両立をテーマにした活動報告
- (2) 防災劇
 - ・兵庫県立大学生、大学院生による防災劇
 - ※新型コロナウイルス感染症対策の観点から、事前録画したビデオを上映
- (3) 避難行動と老朽化家屋対策
 - ・兵庫県立大学による、福良のまちの避難経路や老朽化家屋対策をテーマにしたまち歩き活動の報告

主催：福良地区防災フェスタ実行委員会（福良地区連合自治会、淡路県民局、南あわじ市）

福良の観光と魅力について



関西大学の学生からは、10年以上続く津波防災まちづくりの成果を、SNS活用して紹介する方法について報告がありました。

防災劇



兵庫県立大学の学生からは、防災劇の映画の上映や、学生が考える福良の防災まちづくりについて発表がありました。

避難行動と老朽化家屋対策



兵庫県立大学からはまち歩きを兼ねた調査結果や避難対策と老朽化家屋の対策の紹介がありました。



最後に南あわじ市長から、福良の観光と防災の両立をテーマにした津波防災まちづくりの重要性についてお話がありました。



・兵庫県立大学生、大学院生による研究成果も展示されました。

高台プレーパーク (淡路景観園芸学校の取り組み)

『高台プレーパーク』とは、高台で遊ぶことで津波の際の避難場所を子どもたちに認識してもらう取り組みです。淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院の嶽山先生が中心となって実施しています。

【資料提供: 嶽山先生より】

■ 開催概要

福良湾を眺めることができる山の展望場所を、子ども達が自由に遊ぶことができるプレーパークとして活用することで、高台の津波避難場所として認識してもらっています。

- 場 所: 岡の原公園
- 内 容: クラフト体験や森の秘密基地づくりなどの遊び
- 主 催: 淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院、高台プレーパーク有志の会
- 協 力: 福良町づくり推進協議会



福良のそうめんを食べ、南あわじ市の非常食として推奨されていることを確認しました。



高台プレーパークをPRするために、子ども達が手づくりでチラシを作っています。



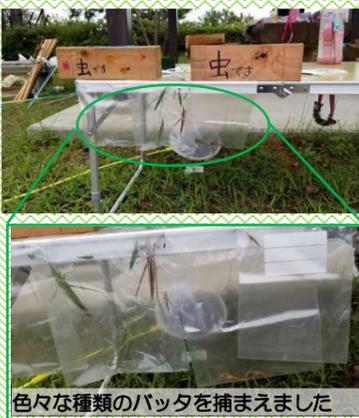
高台プレーパークの周辺には樹林地があり、木にロープを結んで遊ぶ手作りの遊び場を作っています。樹林の中で遊ぶことで、さらに高い場所があることを知ることが出来ます。



廃材を使って高台プレーパークの案内サインをつくりました



小学生が講師となって昆虫の観察会を実施しました。バッタの採り方やバッタについての解説は、非常にわかりやすく丁寧に教えてくれました。



色々な種類のバッタを捕まえました



昔の遊びとして、竹馬や電車ごっこ?を体験しました。

つかまえた! ハネヒロエソトンボ ~高台プレーパークより~

高台プレーパークに阿万地区から参加している泊 和果(とまり のどか)さんがハネヒロエソトンボをつかまえました。

泊りさんが「とてもきれい」と感じたハネヒロエソトンボは、絶滅の恐れがあるトンボの種類です。

淡路島での発見は、とても貴重であるとのことでした。



「うれしかった!」初めて参加した高台プレーパークでハネヒロエソトンボを発見した泊 和果(とまり のどか)さん



ハネヒロエソトンボの標本【資料提供: 嶽山先生より】

福良防災フェスタ(オンライン・うずまるフェスタ)の公式アカウントの開設

福良地区では毎年9月に「うずまるフェスタ」と称した福良の津波防災まちづくりを内外に発信するイベントを開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。

津波防災日本一を目指す「南あわじ市福良地区」を応援している関西大学奥村ゼミでは、福良まちづくり推進協議会防災部会(円卓会議)での話し合いを受け、「うずまるフェスタ」の開催の実現に向けて新たな方法を企画しました。それが SNS などでの地域の津波防災まちづくりの取り組みを紹介する「オンライン・うずまるフェスタ」です。地元の関係者の皆さんと奥村ゼミで協力し合って、取材を重ね、動画などのコンテンツを作成しています。

※詳細は「総合防災・減災研究室(奥村ゼミ)ホームページ」をご覧ください。

■ うずまるフェスタ公式アカウント

毎年恒例のうずまるフェスタがオンラインに!
公式アカウントで福良の津波防災まちづくりを紹介しています!

ぜひフォローしてね!
Instagram: UZUMARUFESTA
Twitter: @uzumarufesta

フォローをお願いします。上記のQRコードを読み取り下さい

■ インスタグラムでの紹介記事



【福良のそうめん紹介記事】



【まちなか水族館紹介記事】